

領域開拓プログラム（研究テーマ公募型研究テーマ）

◆課題： テクノロジーの革新と日本の美学および感性

◆研究テーマ： 響き合う空間、励起される美意識

研究期間：H29.10～H32.9

委託費総額：13,088千円

<研究代表者>



古川聖：東京芸術大学美術学部
／教授

<専門分野> 実験音楽、作曲

<Webページ>

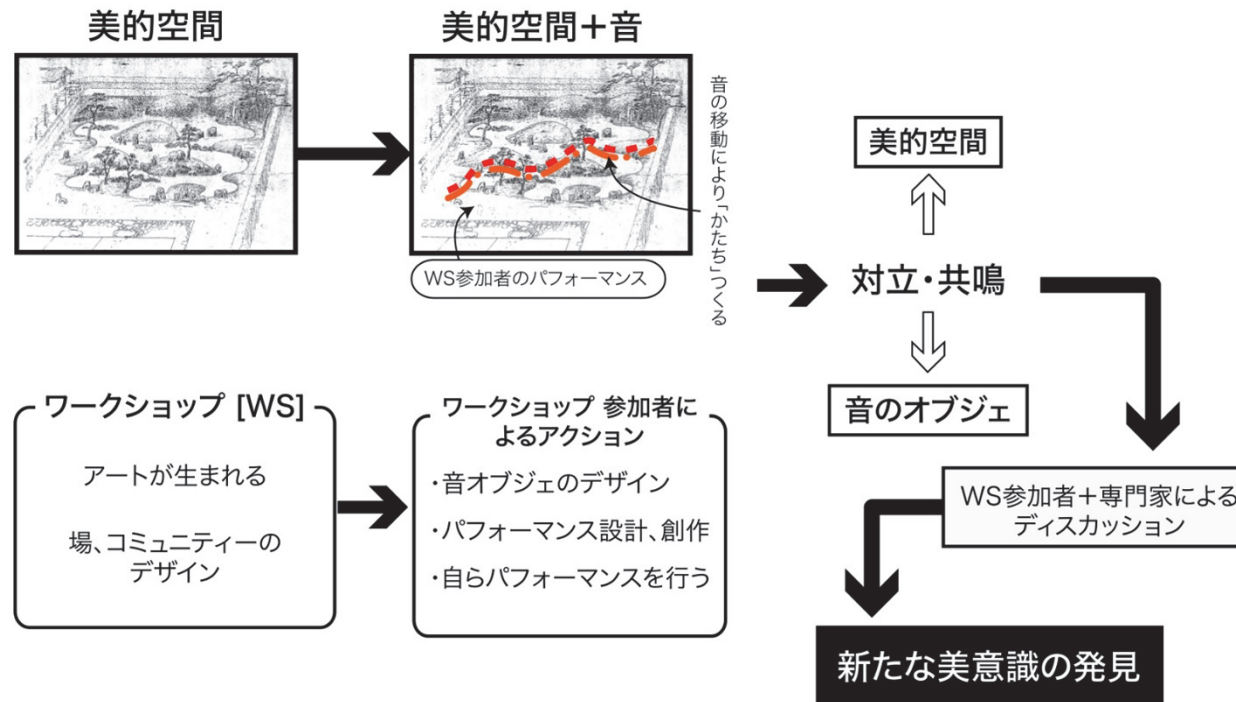
<http://furukawalab.org>

<研究目的・概要>

研究代表者である古川は作曲を専門とするが建築や空間設計を専門とする藤井（分担者）と共に、日本庭園空間の体験と音楽体験の美的認知、美的感受の比較から、そのモダリティーを変換表現するシステム（CG/作曲システム）を立ち上げ、研究と表現行為を並行して行ってきた。本研究はこの横断的な研究をさらに広げ、茂木（分担者）と共にワークショップという方法を用い研究を外部一般と接続し、その中で（日本的な美もふくむ）美的なモノの今日的な有り様、意義を明らかにしようとするものである。

<研究計画の特徴>

既存の美的空間にワークショップを通じた美的介入を行い、新たな美意識が立ち上がる契機をさぐる。



<目標とする研究成果>

日本の美の現代の我々にとっての多様な意味、アスペクトを抽出、明らかにし、真に社会に接地した日本の美に関する提言をおこなう。

<将来展望>

本研究は芸術鑑賞と芸術表現のアスペクトを同時に持つものであり、アートをはじめ美的なものへのあたらしいアティチュード（態度）を示唆し、私たちの生活の中にあるアート、美しさが社会を豊かにするような方向性を生みだせればと思う。